

いとしま出会いサポートセンター JUNOALL がオープンしました



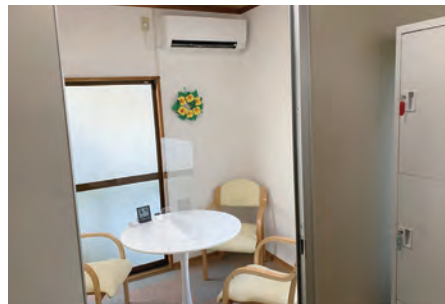
テープカットならぬ、テープ結びセレモニー

11月14日にいとしま出会いサポートセンターのグランドオープンセレモニーが伊都文化会館にて開催されました。連携パートナーであるJUNOALL 最高顧問の麻生渡元知事、古賀篤厚生労働副大臣や大曲昭恵副知事をはじめとするご来賓、そして多くの市内団体や企業の皆様にお越しいただき、100名規模で盛大に開催されました。

いとしま出会いサポートセンターは糸島市の結婚応援事業のため、無料で、且つ安心してご利用いただけます。ご結婚を希望するがされていच्छやらない方に、「出逢い」の一つの手段としてご利用いただければと存じます。



古賀篤厚生労働副大臣よりご祝辞



センター内はプライバシーに細心の配慮



〒819-1119 糸島市前原東2-2-3
TEL: 092-334-1098 ※来所は完全予約制
開所時間: (金)16:00~21:00 (土日)10:00~21:00

《特徴》

- ・入会時には本人のご来所、独身証明書等の書類提出が必要なため安心です。
- ・独自のシステムに希望する条件や結婚観を入力し、条件に合致する方の画像やプロフィールを検索できるため、より理想に近い方と出会える確率が高くなっています。
- ・完全予約制のため、どなたにも会わずにご利用でき、プライバシーも安心です。

《入会資格》

- ・センターに来所でき、結婚するために自ら努力できる20歳以上の独身男女(※糸島市民以外も可)

《申込》

- ・センターにお電話し来所日時を予約 ⇒ 必要書類を持参し登録 ⇒ 運命の人探しへ

市へのご要望や地域の課題、生活に関するお困り事があればお気軽にご相談ください(メールの方がより確実です)

川上しんご連絡先

〒819-1155 糸島市川付1015-16
Tel: 092-324-7277 Mail: sbys.kawakamishingo@gmail.com

川上伸悟プロフィール

昭和53年に旧前原町川付で生まれ育つ。大学卒業後、「人の役に立ち、喜んでもらえる仕事」を軸に学習塾の塾長、結婚式場の支配人や東京本社マネージャーを経て、2018年1月糸島市議会議員選挙に出馬し初当選。西南学院大学経済学部卒。

いとしま
よか故郷
いっちゃん

討議資料



糸島市議会議員川上しんご 市政活動レポート 2021 秋号 STEP BY STEP Vol.7



1期目の任期が満了します



4年前、「にぎわいの創出」「出逢いの創出(婚活等)」「子育て環境の充実」の実現を柱に糸島市議会議員に立候補させていただき、市民の皆様のお力添えにより議会に立たせていただきました。

この4年間、多くのことを学び、経験させていただき、少しでも結果を残せるよう精進して参りました。今号においては、その4年間で何を実現することができたのか、次ページにて1期目の実績・成果の主なものを紹介させていただきます。

これからも、糸島市のため、そして未来の糸島市民のため、ひいては世の中全体に貢献するため、一歩ずつ精進して参ります。

川上伸悟



活動報告《2021年4月-10月》

10月2日たていとヨコイト長糸フェス



長糸校区において開催された「たていとヨコイト長糸フェス」の実行委員を務めさせていただきました。人と人とのつながりを分断したコロナ禍。このような時だからこそ「互いに助け合っていける町にしたい」「心のふるさとにしたい」の目的で開催。延べ900人の方にお集まりいただき、多くの笑顔に包まれたのではと感じました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



トゥクトゥクで風を感じて走る



たくさんのお店に出店いただきました



幻想的なライトアップ

この市政活動レポートは、配布前の検温等、感染症対策を行ったうえ配布しております

川上しんご 1 期目の実績《議会を通じ実現できたもの》

いとしま出会いサポートセンター事業



- 2019 年 9 月 一般質問
- 2019 年 9 月 いとしま結婚応援団設立
- 2020 年 12 月 一般質問

「にぎわいの創出」＝「地域の活性化」を実現する活動の中で、糸島市の人口は転居等の社会増で増えてはいるが、自然増(出生数-死者数の割合)が著しく低いことを認識しました。※福岡都市圏 17 自治体で最下位

原因を分析すると、「老年人口の割合が高い」「合計特殊出生率が低い」そして何より「千人あたりの婚姻率が低い」※4.08 件で福岡都市圏最下位 ことが最大の課題であると考えました。まずは、いとしま結婚応援団設立のお手伝いをし、機運を高め、2 度の一般質問で訴え、そしてようやく糸島市による「いとしま出会いサポートセンター事業」を開始していただくに至りました。※4 ページ目参照



小規模特認校制度の導入



■ 2018 年 12 月 一般質問

この制度は、教育委員会が指定した学校へ、糸島市内に住所を有する児童等、及びその保護者が希望すれば、市内全域から入学・転入学することができる制度です。

今回指定された長糸小学校は、各学年 20 人前後の小規模校で、田植えや川遊び等、自然に触れ合える環境を生かし、さらには活発な地域交流で「ななめの関係」をはじめとする豊かな人間性を育む教育活動を展開しています。

多様化する現代社会において、子どもの特徴に合わせた学校を選べることは大きなメリットがあると考えます。

新生児聴覚検査の無償化



■ 2020 年 12 月 一般質問

新生児の、先天性異常に関する調査は、福岡県が助成している先天性異常検査と、保護者が任意で受けさせる新生児聴覚スクリーニング調査の 2 種類があります。

この聴覚検査ですが、2018 年の時点で、長崎・大分・鹿児島県は 100%の自治体で公費負担を行っているが、福岡県においては 60 市町村中 13 市町村しか公費負担がなされておらず(当時)、糸島市でも自費で検査するしかありませんでした。

糸島市に生まれてきてくれる赤ちゃん、そしてご家族のため、少しでも出産・子育て費用を軽減できるよう公費負担を求めたところ、早期の実施へむけて取り組んでくれることとなりました。



川上しんご 1 期目の実績《委員会を通じ実現できたもの》

常任委員会調査の強化

■ 議会活動に関する調査特別委員会 「議論の活性化」ワーキンググループ

現在、糸島市議会にある 3 つの常任委員会において、調査テーマを設け、それに沿った議論や視察を行っていますが、委員会独自の調査を基に課題や市民ニーズを見つけ出し、それを提言につなげるという実績がありません。

議会の目的である「市民福祉の増進・市政の発展」に寄与し、市民の負託にさらに応えるため、テーマの決定とそのテーマに則した調査報告を、最低でも年一回の実施を制度化するよう提言し、採択されました。

来期より、市民のニーズを把握し、調査や提言を行うことにより、市民の皆様の負託にさらに応えられるよう委員会活動を行って参ります。



糸島市議会災害時活動マニュアルの導入

■ 議会活動に関する調査特別委員会 「大災害でも機能する議会」ワーキンググループ

大規模な災害が発生した場合、庁舎が使用できなくなる可能性や、市職員が災害対応にあたることにより、市の機能が麻痺する可能性もあります。

このような状況下では、議会においても重要な意思決定を速やかに行うことができなくなる可能性がでてきます。

したがって、災害発生時において議会の機能を維持するために①所在確認のルール②情報伝達のルール③議員の行動マニュアル等を盛り込んだ糸島市議会災害時活動マニュアルを策定し、採択されました。



議会の ICT 化の推進

■ 議会活動に関する調査特別委員会

議会の機能向上のため、インターネットを活用した ICT (情報伝達技術) 化を提言しました。

提言の目的は、時代の潮流に合わせ、タブレット端末等の導入により、業務の効率化や環境への配慮、そして長い目で見た時のコスト削減です。

現在は、端末機器の議場への持ち込みが可能となりましたが、今後は市の執行部とも歩調を合わせて、ペーパーレス化を始め、さらに効率化を図っていきたいと考えております。

